

行政環境関連施策（第4節）											
1人ひとりが積極的に参加する自立と協働のまちづくり											
ア 頁	イ 取組	ウ 担当部課	エ 現状と課題等	オ H22	カ H23	キ H24	ク H25	ケ H22結果	コ H23結果	サ 進捗状況	シ 達成見通
88	様々なメディアによる情報提供を実施します。	環境保全課	広報、ホームページ、環境かわら版等を活用している。また、必要に応じ報道発表している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	広報、ホームページ、環境かわら版等で様々な情報を提供	広報、ホームページ、環境かわら版等で様々な情報を提供	B 計画 通り	B 予定 通り
88	地域における環境教育を実施します。	環境保全課	21年度より「緑のカーテンについて考えよう講座」を市内小学校で開催している。 生涯学習出前講座「いちのみや出前一聴」に講師を派遣している。 環境センターの見学を受付している。	緑のカーテン講座を開催 講師派遣、随時実施 環境センター見学を受付	継続実施	継続実施	継続実施	緑のカーテン講座を開催 「出前一聴」等講師派遣 環境センター見学を受付	緑のカーテン講座を開催 環境センター見学を受付	B 計画 通り	B 予定 通り
89	不法投棄やごみのポイ捨てを発見した場合の通報システムの定着に努めます。	清掃対策課	14年度より、警察、県一宮建設事務所及び市関係各課により「不法投棄対策連絡会」を設立し、合同パトロールを実施している。 夜間パトロールや郵便局との提携による通報制度により、不法投棄の防止に努めている。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	通報・発見件数 338件	通報・発見件数 374件	B 計画 通り	B 予定 通り
89	監視カメラなどによる不法投棄監視システムの導入を検討します。	清掃対策課	14年度より、警察、県一宮建設事務所及び市関係各課により「不法投棄対策連絡会」を設立し合同パトロールを実施している。 夜間パトロールや郵便局との提携による通報制度により、不法投棄の防止に努めている。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	通報・発見件数 338件	通報・発見件数 374件	B 計画 通り	B 予定 通り
89	ごみ袋の有料化について検討します。	清掃対策課	ごみ出しルールの統一に合わせ、指定ごみ袋制を導入した。有料化については、当面実施しない。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	指定ごみ袋制度を継続した。	指定ごみ袋制度を継続した。	B 計画 通り	B 予定 通り
89	「一宮市空き缶等ごみ散乱防止条例」や「一宮市飼い犬等のふん害の防止に関する条例」の定着を図ります。	清掃対策課	14年4月の条例施行・改正に合わせ、ポスターを各町内に配布し、周知に努めた。 また、啓発看板、啓発のぼり旗を作成し、希望者に配布するなど、10月の一宮市環境月間を中心に啓発している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	重点区域にポイ捨て防止啓発のぼり配置。 ふん害防止看板を提供（799枚）	重点区域にポイ捨て防止啓発のぼり、看板配置。 ふん害防止看板を提供（1,290枚）	B 計画 通り	B 予定 通り
90	講演会や市民講座などを開催します。	清掃対策課	生涯学習出前講座「いちのみや出前一聴」に講師を派遣している。 環境センターの見学を受付している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	「出前一聴」6回 環境センター見学者 4,684人	「出前一聴」2回 環境センター見学者 3,868人	B 計画 通り	B 予定 通り
90	あらゆるイベント開催にあたっては、環境に配慮したエコイベントを推進します。	公園緑地課	いちのみやリバーサイドフェスティバル、竹の子掘り、ホテル観賞のタベを開催している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施	目標通り実施	B 計画 通り	B 予定 通り
90	環境情報の収集・発信の拠点を整備します。	施設管理課	20年度にエコハウス138にエコ情報センターを整備した。環境学習用のインターネット専用パソコン4台、図書898冊、ビデオ70巻を設置している。 20年度よりエコハウス138の運営及び管理を指定管理者へ委託した。	指定管理者において 継続実施	指定管理者において 継続実施	指定管理者において 継続実施	指定管理者において 継続実施	20年度に整備済 図書追加購入し充実を図った。	20年度に整備済 図書追加購入し充実を図った。	B 計画 通り	B 予定 通り
90	広報誌やインターネットなど、多様な媒体による情報提供を推進します。	環境保全課	広報、ホームページ、環境かわら版等を活用している。また、必要に応じ報道発表している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	随時、広報に掲載。 また、必要に応じ報道発表を実施しました。	随時、広報に掲載。 また、必要に応じ報道発表を実施しました。	B 計画 通り	B 予定 通り
		施設管理課	各種講座・教室開催案内の広報掲載及び公共施設にチラシ・ポスターを配布した。 平成20年度よりエコハウス138の運営及び管理を指定管理者へ委託した。	指定管理者において 継続実施	指定管理者において 継続実施	指定管理者において 継続実施	指定管理者において 継続実施	目標通り実施	目標通り実施	B 計画 通り	B 予定 通り
91	小中学校を通した長期的・継続的な環境教育のカリキュラムを作成・実施します。	学校教育課	社会・理科・生活・総合的な学習の時間を中心に環境教育を実施しています。 学習指導要領の改訂、小・中学校の教科書改訂に合わせたカリキュラムの改訂を実施します。	全小中学校における 環境教育の実施 カリキュラムの改訂	全小中学校における 環境教育の実施 カリキュラムの改訂	全小中学校における 環境教育の実施	全小中学校における 環境教育の実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	B 計画 通り	B 予定 通り
91	河川調査、資源ごみ回収、クリーンアップ、野菜の栽培などの体験型学習の充実を図ります。	学校教育課	総合的な学習の時間を中心に「豊かな心を育てる活動推進事業」との関連を図りながら、全校で地域清掃活動や野菜の栽培（小学校）を実施しています。 社会・理科・生活科において環境教育を実施しています。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	B 計画 通り	B 予定 通り
91	「エコスクール運動」を通して、省エネルギー、省資源、ごみの減量に取り組みます。	清掃対策課	15年度より実施。 合併後参加した旧尾西市・旧木曾川町の小中学校にも運動が定着しつつあり、19年度からは市内全市立小中学校の参加が得られた。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	エコスクール運動参加校 61校（全校参加）	エコスクール運動参加校 61校（全校参加）	B 計画 通り	B 予定 通り
91	全国展開されている「こどもエコクラブ」に積極的に参加します。	学校教育課	「こどもエコクラブ」への参加を啓発します。	小学校の1/3程度の参加	小学校の1/3程度の参加	小学校の1/3程度の参加	小学校の1/3程度の参加	小学校実施せず 個人で5団体が参加	21団体 3,373人が参加 上記の内、小学校6校参加	B 計画 通り	B 予定 通り
92	町内における環境美化・環境保全活動の体制づくりを支援します。	環境保全課	県事業の「地域環境保全委員」制度に協力している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施	目標通り実施	B 計画 通り	B 予定 通り
92	町内における環境美化・環境保全活動の体制づくりを支援します。	清掃対策課	町内会等による地域清掃の際、ごみ袋などを提供している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	支援数 10団体 参加者数 2,816人 ボランティア袋申請件数 36件	支援数 19団体 参加者数 3,742人 ボランティア袋申請件数 22件	B 計画 通り	B 予定 通り

行政環境関連施策（第4節）											
1人ひとりが積極的に参加する自立と協働のまちづくり											
ア 頁	イ 取組	ウ 担当部課	エ 現状と課題等	オ H22	カ H23	キ H24	ク H25	ケ H22結果	コ H23結果	サ 進捗状況	シ 達成見通
93	「エコハウス138」などの環境学習施設における教育・学習内容を広く市民に周知します。	施設管理課	13年度 「エコハウス138」パンフレット 10,000部作成し、随時「エコハウス138」チラシを作成している。 18年5月28日、エコハウス138第2期事業であるビオトープが開園し、パンフレットを8,000部作成した。 20年度よりエコハウス138（含ビオトープ園）の運営及び管理を指定管理者へ委託した。	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	環境学習講座の開催 22講座 自然観察会の開催 10回	環境学習講座の開催 17講座 自然観察会の開催 10回	B 計画 通り	B 予定 通り
93	環境教育・学習に関するセミナーなどを開催します。	施設管理課	17年度：13講座 13回開催 参加者343人 18年度：12講座 12回開催 参加者330人 19年度：12講座 12回開催 参加者350人 20年度：16講座 16回開催 参加者396人 21年度：23講座 23回開催 参加者374人	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	22講座	17講座	B 計画 通り	B 予定 通り
93	市内の学校や図書館などの公共施設をネットワーク化し、情報の共有化を図ります。	施設管理課	17年度：小学校 6校 512人 18年度：小学校 9校 796人 19年度：小学校 9校 789人 20年度：小学校 10校 807人 21年度：小学校 5校 477人	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	小学校3校、249人の児童が社会見学学習	小学校4校、407人の児童が社会見学学習	B 計画 通り	B 予定 通り
93	インターネットを通して、環境情報を市民に発信します。	施設管理課	ホームページを利用して随時情報提供を実施 20年度よりエコハウス138の運営及び管理を指定管理者へ委託した。	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	ホームページを利用して随時情報提供をしました。	ホームページを利用して随時情報提供をしました。	B 計画 通り	B 予定 通り
94	小中学校において、環境教育・学習に関する標準的なカリキュラムを見直します。また、環境教育の指導者を育成します。	学校教育課	学習指導要領の改訂、小、中学校の教科書改訂にに合わせてカリキュラムの改定を実施します。 環境教育主任者会を実施し、各校での環境教育の情報交換を行います。	標準的なカリキュラムの実施・改訂 環境教育主任の任命	標準的なカリキュラムの実施・改訂 環境教育主任の任命	標準的なカリキュラムの実施 環境教育指導者会の開催	標準的なカリキュラムの実施 環境教育指導者会の開催	全小中学校で実施	全小中学校で実施	B 計画 通り	B 予定 通り
		公園緑地課	みどりの少年団育成事業を実施し、学習・野外活動等の緑化活動を通じて人間性豊かな心情を育成する。 19年度にみどりの少年団を1団体増設する。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	2団体	2団体	B 計画 通り	B 予定 通り
94	市民を対象にしたごみ問題など、身近な環境問題解決のための学習ができるプログラムを作成するとともに、市民の指導者を育成します。さらに、その指導者による市民講座を開催します。	環境保全課	生涯学習出前講座「いちのみや出前一聴」に講師を派遣している。 21年度より「緑のカーテンについて考えよう講座」を市内小学校で開催し、その指導者を育成する。	講師派遣、随時実施 緑のカーテン講座を市内小学校にて開催	継続実施	継続実施	継続実施	講師派遣、随時実施 緑のカーテン講座を市内8小学校にて開催 小学生 790人参加	講師派遣、随時実施 緑のカーテン講座を市内12小学校にて開催 小学生 1,189人参加	B 計画 通り	B 予定 通り
		清掃対策課	廃棄物減量等推進員や環境保全・ごみ減量推進モニターなど各地域における指導者の育成を続けていく。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	モニター 18名 推進員 1,624名	モニター16名 推進員 1,476人	B 計画 通り	B 予定 通り
94	市民講座などで学んだ市民が、その学んだことを、自分の地域や職場へと、また、子・孫などの次世代へと伝えていくことができるような、市民が市民を育てる「人材育成の環」を築きます。	環境保全課	講座への講師派遣を実施。環境基本計画推進協議会の分科会で「人材育成の環」の構築に向けての取組について議論している。	出前講座への講師派遣、随時実施	継続実施	継続実施	継続実施	出前講座への講師派遣、随時実施	出前講座で「エコアクションー宮」の講座を実施	B 計画 通り	B 予定 通り
		清掃対策課	12年度より「環境保全・ごみ減量推進モニター」制度を設立 任期は2年で、定員は20名である。 ごみ減量等に対する自主的な調査・研究に取り組んでいる。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	モニター 18名	モニター16名	B 計画 通り	B 予定 通り
95	「一宮市生活排水クリーン推進員」、「環境保全・ごみ減量推進モニター」などの制度によりリーダーを育てます。	環境保全課	一宮市生活排水クリーン推進員により、生活排水対策の啓発等を行っている。	推進員打合せ 年2回 消費生活フェア出展 生活排水クリーン推進員研修会参加	推進員打合せ 年2回 消費生活フェア出展 生活排水クリーン推進員研修会参加	継続実施	継続実施	推進員打合せ 年2回 消費生活フェア出展 生活排水クリーン推進員研修会参加	推進員打合せ 年2回 消費生活フェア出展 生活排水クリーン推進員研修会参加	B 計画 通り	B 予定 通り
		清掃対策課	12年度より「環境保全・ごみ減量推進モニター」制度を設立 任期は2年で、定員は20名である。 ごみ減量等に対する自主的な調査・研究に取り組んでいる。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	モニター 18名	モニター16名	B 計画 通り	B 予定 通り
95	環境活動リーダー養成講座を開催します。	清掃対策課	12年度より「環境保全・ごみ減量推進モニター」制度を設立 任期は2年で、定員は20名である。 ごみ減量等に対する自主的な調査・研究に取り組んでいる。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	モニター 18名	モニター16名	B 計画 通り	B 予定 通り
96	環境保全に関する取組が報われる仕組みや、その活動に対する支援・優遇措置などを検討します。	環境保全課	環境基本計画推進協議会の分科会で手法について協議している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	NPOエコバンクあいちの「地球温暖化防止隊」の活動支援	NPOエコバンクあいちの「地球温暖化防止隊」の活動支援	B 計画 通り	B 予定 通り

行政環境関連施策（第4節）											
1人ひとりが積極的に参加する自立と協働のまちづくり											
ア 頁	イ 取組	ウ 担当部課	エ 現状と課題等	オ H22	カ H23	キ H24	ク H25	ケ H22結果	コ H23結果	サ 進捗状況	シ 達成見通
96	いつでも誰でも参加できる組織づくりとして、総合ボランティアセンターを開設します。	地域ふれあい課	一宮市と市民活動団体（市民）が協力し合い、さまざまな分野で活躍する市民活動団体（市民）を支援するとともに、市民活動の活性化と市民の意識啓発を図る。 16年7月市民活動支援センターを設立した。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施し市民活動団体やボランティアを支援しました。	継続実施し市民活動団体やボランティアを支援しました。	B 計画通り	B 予定通り
96	ボランティア登録の手続きの簡素化により、グループや団体を創りやすくします。	地域ふれあい課	一宮市と市民活動団体（市民）が協力し合い、さまざまな分野で活躍する市民活動団体（市民）を支援するとともに、市民活動の活性化と市民の意識啓発を図る。 16年7月市民活動支援センターを設立した。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施し市民活動団体やボランティアを支援しました。	継続実施し市民活動団体やボランティアを支援しました。	B 計画通り	B 予定通り
96	環境監視委員や環境推進委員の仕組みづくりから始めます。	清掃対策課	衛生委員廃止に伴い、「廃棄物減量等推進員」制度を充実させ、地域でのごみ出しルールの徹底、ごみ減量等への率先した取り組みを促している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	廃棄物減量等推進員1,624名	廃棄物減量等推進員1,476人	B 計画通り	B 予定通り
96	ボランティア、環境監視員や環境推進員と行政が常に連絡を取り合うように運営します。	清掃対策課	衛生委員廃止に伴い、「廃棄物減量等推進員」制度を充実させ、地域でのごみ出しルールの徹底、ごみ減量等への率先した取り組みを促している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	廃棄物減量等推進員1,624名	廃棄物減量等推進員1,476人	B 計画通り	B 予定通り
98	拠点となる施設などをリストアップして、施設の所有者の理解を得ます。	公園緑地課	「私たちの庭の会」の拡張 一宮駅前ビル建設により駅前花壇1箇所減 平成23年度より公園花壇2箇所拡張	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	公園花壇 9箇所 駅前広場花壇 1箇所	公園花壇 11箇所 駅前広場花壇 1箇所	B 計画通り	B 予定通り
98	拠点となる施設の解説書（立てれなどを含む。）、ガイドブックの作成を行うボランティアを支援します。	環境保全課	ボランティア団体より申し出があった場合、関係各課と協議し、より適切な支援が受けられるよう案内したい。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	ボランティア団体より問い合わせはなかった。	ボランティア団体より問い合わせはなかった。	E 該当事業なし	E 該当事業なし
98	今後の道路改修時には、できる限り環境に配慮した設計にし、車道部との間に緑の壁を作るよう努めます。	道路課	街路樹による緑化ができるよう努めている。	計画作成	新一宮尾西線 L=520m	新一宮尾西線 L=139m	検討中	検討中	新一宮尾西線 L=520m 高木 33本 低木 1169本	B 計画通り	B 予定通り
98	エコマネーの母体となる市民団体・NPOの設立の後押しを行います。	環境保全課	該当事業はないが、研究等を含め検討します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	一宮市消費生活フェアにおいてエクスポエコマネー推進事業を環境ブースにまねき、エコマネーを市民に体験してもらうなど、エコマネーについて検証等を行いました。	前年の実施体験を基に検証等行った。	E 該当事業なし	E 該当事業なし
98	福祉事業の一部をエコマネーの運用団体にゆだねます。	環境保全課	該当事業はないが、研究等を含め検討します。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	一宮市消費生活フェアにおいてエクスポエコマネー推進事業を環境ブースにまねき、エコマネーを市民に体験してもらうなど、エコマネーについて検証等を行いました。	前年の実施体験を基に検証等行った。	E 該当事業なし	E 該当事業なし
99	環境家計簿の表彰制度をもうけるなど、環境家計簿の普及啓発に努めます。	環境保全課	環境保全課や消費生活フェアなどのイベントで希望者に配布している。	消費生活フェアで配布	継続実施	継続実施	継続実施	消費生活フェアで希望者に配布	消費生活フェアで希望者に配布	B 計画通り	B 予定通り
99	環境報告書や環境会計の導入を啓発します。	環境保全課	該当事業はないが、総合的に検討していきたい。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	検討中	検討中	E 該当事業なし	E 該当事業なし
100	6月の環境月間などに合わせて、グリーン購入のキャンペーンをします。	環境保全課	該当事業はないが、総合的に検討していきたい。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	検討中	検討中	E 該当事業なし	E 該当事業なし
100	買い物をする時には、進んで環境配慮型商品を購入するようにポスターなどで呼びかけます。	環境保全課	広報やホームページで紹介している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	ホームページでグリーン購入に関する情報等を紹介しました。	ホームページでグリーン購入に関する情報等を紹介しました。	B 計画通り	B 予定通り
100	主に地元で作られている商品を積極的に市民にPRします。	経済振興課	平成22年度に「一宮市新商品開発・新分野開拓事業者支援制度」を制定し、市内企業が今までに取り組んでこなかった商品を新たに製造、販売する場合に、市で購入できる可能性のあるもの等の諸条件をクリアし、認定審査会で認定されれば、市HP上での公表及び必要に応じて随意契約による購入をするものとした。	「一宮市新商品開発・新分野開拓事業者支援制度」の制定	継続実施	継続実施	継続実施	14品目認定	1品目認定	B 計画通り	B 予定通り
100	事業者に対し、意識付けの周知徹底を図ります。	環境保全課	該当事業はないが、総合的に検討していきたい。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	検討中	検討中	E 該当事業なし	E 該当事業なし
101	ISO14000シリーズの取得をめざす事業所に対して、行政がサポートできる体制をつくります。	経済振興課	ISO14000シリーズの認証を取得した企業に対し、その審査にかかる経費を補助する。 補助対象経費の1/2の95% 95万円を限度 17年度から限度額を50万円に変更	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	新規申請件数はありませんでした。	2件 補助金額458,000円	B 計画通り	B 予定通り
101	事業所の環境活動を支援するため、奨励金制度や表彰制度などを行います。	経済振興課	ISO14000シリーズの認証を取得した企業に対し、その審査にかかる経費を補助する。 補助対象経費の1/2の95% 95万円を限度 17年度から限度額を50万円に変更	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	新規申請件数はありませんでした。	2件 補助金額458,000円	B 計画通り	B 予定通り

行政環境関連施策（第4節）											
1人ひとりが積極的に参加する自立と協働のまちづくり											
ア 頁	イ 取組	ウ 担当部課	エ 現状と課題等	オ H22	カ H23	キ H24	ク H25	ケ H22結果	コ H23結果	サ 進捗状況	シ 達成見通
101	大企業には、ISO14000シリーズの取得を働きかけます。	経済振興課	機会をとらえて、ISO14000シリーズの取得に向け啓発を図る。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	H P上で市補助制度を紹介（ただし対象は市内中小企業であり、大企業ではない）	H P上で市補助制度を紹介（ただし対象は市内中小企業であり、大企業ではない）	B 計画通り	B 予定通り
101	個人商店から中小企業まで、過度の負担なく参加できる市独自の環境活動基準をつくります。	環境保全課	該当事業はないが、検討していきたい。	検討	検討	検討	検討	検討中	検討中	E 該当事業なし	E 該当事業なし
102	農地を保全・活用する土地利用調整システムを検討します。	農業振興課	23年度利用権設定件数 貸し手 772人、借り手 46人、土地 2,248筆 1,309,938㎡ 23年度末現在 貸し手 1,110人、借り手 63人、土地 2,497筆 1,471,000㎡ 生産緑地制度により市街化区域農地を保全する。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	利用権設定件数 貸し手25人	利用権設定件数 貸し手772人	B 計画通り	B 予定通り
102	生ごみの堆肥化及びその普及に努めます。	清掃対策課	16年度より生ごみを分別収集・乾燥処理し、堆肥の原料とする資源化事業を試験的に実施してきたが、民間施設の処理能力の拡大が望めないことと事業経費が高額となることから22年度末をもって事業廃止とした。 本取組は、再生利用が要となるため、農業振興課が実施する「循環型農業普及推進事業」による資源循環方式の促進が有効である。	継続実施	事業終了	－	－	660世帯で試験実施	－	事業終了	事業終了
		農業振興課	23年度、市内公共施設と一部町内会及びマンションの協力を得て、39,177キログラムの生ごみから11,753キログラムの堆肥を製造した。引き続き、よい堆肥ができるよう努めるとともに、啓発にも力をいれていく。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	市内全体で、139,396リットルの生ごみから、33,700リットルの堆肥を製造しました。	市内全体で、39,177キログラムの生ごみから、11,753キログラムの堆肥を製造しました。	B 計画通り	B 予定通り
102	病虫害防除技術を普及し、減農薬農業への移行を図ります。	農業振興課	減農薬、減化学肥料をめざす農業者を県が審査し「エコファーマー」として認定する。23年度末で84人が認定を受けている。 化学農薬のかわりに生物天敵を使う試験を継続して行っているが、簡単に広がっていく消毒法ではないので、地道に取り組んでいかななくてはならない。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	「エコファーマー」として95名が認定を受けています。 生物天敵も一部で実際に利用しました。	「エコファーマー」として84名が認定を受けています。 生物天敵も一部で実際に利用しました。	B 計画通り	B 予定通り
102	有機・減農薬の地場農産物に対する認証制度を検討します。	農業振興課	水田農業の生産調整への取組の中で、特別栽培農産物への助成を行う。 16年度から面積要件を追加した。特別栽培農産物の差別化を図る。 特別栽培米の耕作面積は増えつつある。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	市内28ヶ所の水田197,570㎡で特別栽培米を作り、減農薬・減化学肥料に努めた。	市内27ヶ所の水田214,375㎡で特別栽培米を作り、減農薬、減化学肥料に努めた。	B 計画通り	B 予定通り
103	「エコアクションー宮」の取組を広く周知します。	環境保全課	毎年度「温室効果ガス排出結果」等各種取組を、広報掲載、報道発表している。 それ以外の省エネ情報については、ホームページで紹介している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	「温室効果ガス排出結果」等各種取組を広報掲載、報道発表しました。	「温室効果ガス排出結果」等各種取組を広報掲載、報道発表しました。	B 計画通り	B 予定通り
103	「エコアクションー宮」を市民、事業者が取り組めるような計画として、普及啓発を図ります。	環境保全課	「エコアクションー宮」を行政の率先行動計画として実施している。 地球温暖化対策地方公共団体実行計画（地域施策編）策定を踏まえ、23年度から「第3次エコアクションー宮」を実施する。	市広報、ホームページ等で市民、事業者に対して、地球温暖化対策などの啓発を行っている。	継続実施	継続実施	継続実施	市広報、ホームページ等で市民、事業者に対して、地球温暖化対策などの啓発を行いました。 「第3次エコアクションー宮」の策定準備をしました。	市広報、ホームページ等で市民、事業者に対して、地球温暖化対策などの啓発を行いました。 「第3次エコアクションー宮」を策定しました。	B 計画通り	B 予定通り
103	平成17年度の結果を踏まえ、計画の見直しを行います。	環境保全課	17年4月1日に一宮市、尾西市及び木曽川町の2市1町が合併し、対象施設が増えたことなどにより、17年度を基準年度にした実行計画に見直した。 地球温暖化対策地方公共団体実行計画（地域施策編）策定を踏まえ、23年度からの「第3次エコアクションー宮」の見直しをする。	継続実施 23年度からの「エコアクションー宮」の見直し	「第3次エコアクションー宮」を策定し実施する	継続実施	継続実施	18年4月に見直しした実行計画「エコアクションー宮」の継続実施 「第3次エコアクションー宮」の策定準備をしました。	「第3次エコアクションー宮」を策定し、実施しました。	B 計画通り	B 予定通り